

倒立型顕微鏡に取り付けてラマン分析が可能！

レーザーラマン分光器uRaman™-i **New**

uRaman™-iは、生物学や気象学の研究用に開発された倒立型顕微鏡用ラマン分光器です。

非破壊かつ試料の前処理を必要としないラマン分光法は、ライフサイエンス分野の研究でも非常に有効なテクニックであることが実証されております。近年、バクテリアの識別、真菌感染症、生細胞を使ったがん研究などの幅広い応用が報告されております。

マッピングオプションUPG-iMAP（電動XYステージ+解析ソフトuSoft-Map）を使用することで、ラマンマッピングを行うことができ、蛍光、微分干渉（DIC）、位相差などの既存のイメージング機能と共に用いて相互の関連付けが行えます。また最高500nm*の空間分解能でサンプルを識別することができます。

*分解能は使用するレーザー波長と対物レンズに依存します。分解能500nmは532nmのレーザー波長と100倍の油浸レンズを使用することで実現可能です。

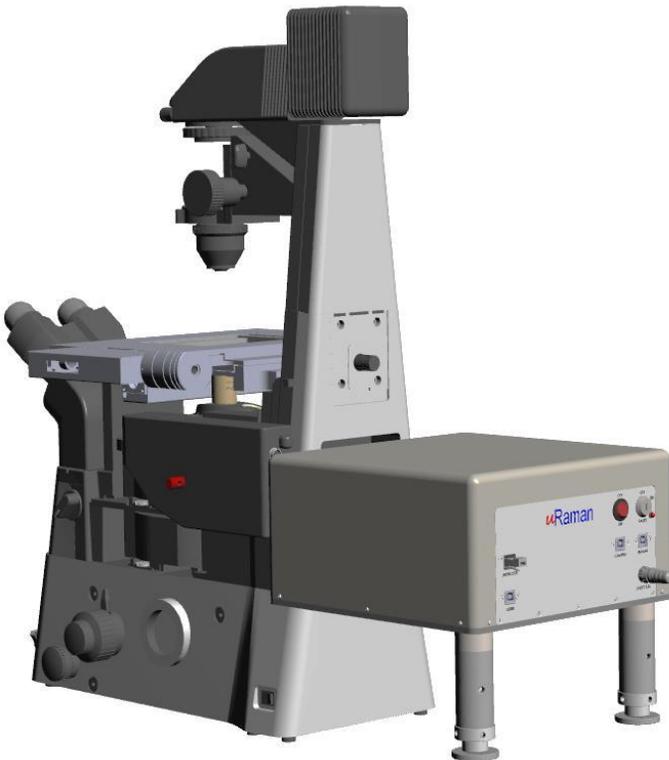
uRaman™-i

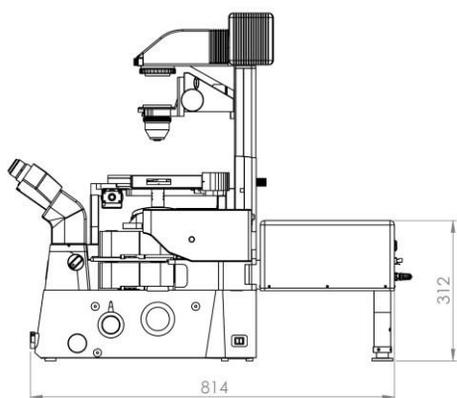
倒立顕微鏡のバックポートに直接取り付けることが可能です。取付けの際には、落射照明フィルタータレット内に追加の反射鏡を設ける必要があります。

正立顕微鏡用のuRaman™-Mモジュールとは異なり、uRaman™-iモジュールはモジュール内にCMOSカラーカメラを内蔵しており、ラマン測定の際の位置決めを正確に行えます。

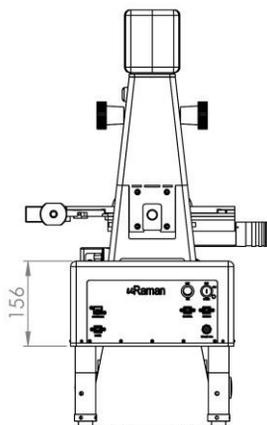
各モジュールは、搭載した励起波長ごとに最適化されており、設置後は再アライメントなしでご使用頂けます。またuRaman™シリーズと同様に非常に堅牢なボディで耐久性に優れています。

オプションとして、モーター駆動偏光ラマン測定（角度精度：0.5度）を行うことが可能です。

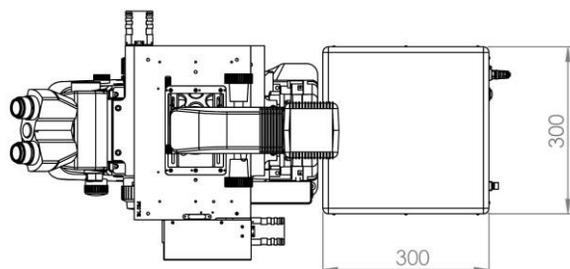




Side view



Back view

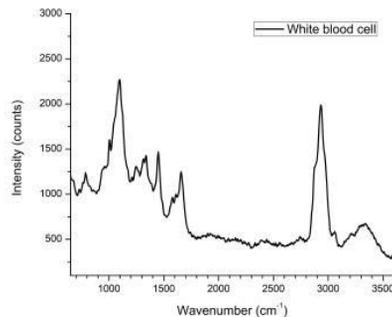
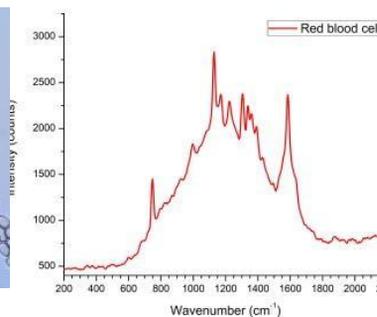


Top view

*ミリ(mm)で表示

uRaman™-i

血液細胞



仕様

レーザー波長	532 nm	633 nm	785nm
レーザータイプ	単一波長周波数安定化レーザー		
レーザー出力	100 mW	70 mW	100 mW
半値全幅 (FWHM)	<1 MHz	<150 MHz	<105 MHz
ディテクター	Cooled or Non-Cooled 2048 pixel CCD array		
測定レンジ / 解像度	95 or 200 – 5400 @ 10cm ⁻¹ 95 or 200 – 3400 @ 7cm ⁻¹ 95 or 200 – 1900 @ 5cm ⁻¹	80 or 160 – 3800 @ 7cm ⁻¹ 80 or 160 – 2400 @ 5cm ⁻¹	80 or 150 – 3600 @ 8cm ⁻¹ 80 or 150 – 2400 @ 4.5cm ⁻¹ 80 or 150 – 2400 @ 9cm ⁻¹
収集時間	2 msec to 120 sec		
ソフトウェア	uSoft or uSoft-Map		
使用電源	12 Vdc	5 Vdc	5 Vdc

輸入代理店

(株)ニューメタルズ エンド ケミカルズ コーポレーション

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-5 京橋TDビル5F

Tel : 03-5202-5620 Fax:03-3271-5860

大阪 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-23 小寺プラザビル9F

Tel : 06-6202-5108 Fax:06-6223-0987

販売代理店